



ふくだ
Fukuda

滑川町立福田小学校 学校だより

7月号

令和 5年6月28日

電話 0493-56-2651 FAX 0493-56-2643

校長 上野 修

「記録」より「姿勢」

イチロー選手に学ぶ

「イチロー選手は、ただ年々長くなる学問は、ただはげみつとむるぞ肝要にて、学びやうは、いかやうにてもよかるべく、さのみかかはるまじきことなり。いかほど学びかたよくても怠りつとめざれば、功はなし」
(本居宣長)

成功者はすでに卓越した技術や知識を身につけているにもかかわらず、さらに上を目指したい、という強い意欲を示す」
(ヘスター・レイシー)

芸術家の素晴らしい作品を見ても、それがどれほどの努力と鍛錬に裏打ちされているかを見抜ける人はいない。そのほうがむしろ都合よく言っている。気の遠くなるような努力のたまものだと知ったら、感動が薄れるかもしれないからだ」
(フリードリッヒ・ニーチェ)

「ちいさいことをかさねることが、とんでもないところに行くただひとつの道」
(イチロー)

「MLB(アメリカメジャーリーグ)、エンゼルスの大谷翔平選手が、今シーズンも大活躍です。今年3月のWBC(ワールドベースボールクラシック)での投打にわたる好プレーで日本の優勝に貢献したことも記憶に新しいですね。大谷翔平選手のことは以前にも紹介しましたので、今日は14年前の2009年のWBCで日本が世界一に輝いたときの立役者、イチロー選手のことを紹介したいと思います。イチロー選手は、日本とアメリカで通算4,367安打の大記録を持つレジェンドです。2016年にはピート・ローズ選手が持つMLB記録を超える4,257安打を記録しました。この時のインタビューでは、「ここにゴールを設定したことがないので、実はそんなに大きなことという感じは全くしていないんです」とクールに語っていました。イチロー選手は、それ以前にも10年連続200安打など数々の記録を打ち立ててきましたが、「記録」を話題にされることをあまり喜ばない選手でした。なぜなのでしょうか・・・

4257本……同じ野球人ながら、次元が違いすぎてピンとこないほどすごい数字だ。

イチローについて忘れられない思い出がある。私はプロ2年目の1995年にパ・リーグの本塁打王になった。勘違いして、てんぐになった。おかげで翌96年のシーズンに入ると成績は散々。一方でイチローは3年連続の首位打者にばく進していた。

その年のオールスターゲーム、外野を2人でランニング中に彼に聞いた。「モチベーションが下がったことはないの？」するとイチローは私の目を見つめながら「小久保さんは数字を残すために野球やっているんですか？」と言った。「僕は心の中に磨き上げたい石がある。それを野球を通じて輝かしたい」自分はなんと恥ずかしい質問をしたのかと、顔が赤くなった。彼の一言で「野球を通じて人間力を磨く」というキーワードを得た。

以来、彼と食事に行くときは手帳を横に置いて、気になった言葉をメモしている。例えば「準備の準備」という言葉。準備に入る前に、その準備をする。それほど自己管理が徹底しているからこそレギュラーでなくなった今でも、パッと試合に出た時にあれだけ打てる。試合に出て当たり前だった選手が出られない葛藤は計り知れないはずだが、それでも準備を怠らない。

人間は「この人には勝てない」と思った時に初めて謙虚になれる。イチローは2歳年下だけれども、私にとってそういう存在だ。

(野球日本代表「侍ジャパン」の元監督、小久保裕紀さん 2016年当時の談話)

「よい結果はよい準備から」「姿勢と習慣が人生を決める」私が大切にしている言葉です。

あらゆる職業には、仕事をする能力を身に付けるという意味で「これくらいいいかな」というラインがあると思います。そして、99%の人間は、自分がそのラインに達したと思うと、そこに居着いてしまいます。1%(もっと少ないかも知れませんが……)の人だけが、そのラインを超えようとします。

「いまのままで十分じゃないか。これ以上努力する必要はないだろう」という心の声を振り切って、「まだまだ」「もっともっと」と努力を続けます。そのような人だけが「本物の力」を身に付けられるのだと思います。

私たちが、イチロー選手に対して敬意を抱くべきは、その「記録」に対してではなく、心の中の石を一生をかけて磨こうとする「姿勢」なのではないでしょうか。

児童・保護者の活動、地域の皆様の活動

運動会

6月4日(日)、運動会を実施しました。過去3年は、コロナの影響で参観者を制限させていただき「縮小開催」でしたが、4年ぶりにご来賓をお招きしての開催となりました。

しっかり準備した子供たちが躍動した運動会となりました。

保護者、地域の皆様にはご高覧いただきありがとうございました。



田植え体験

6月13日(火)、「谷津の里」の皆様の全面的なご協力により、5, 6年生が「田植え」を体験しました。比較的広い田圃でしたが、時間内に植えることができました。体験終了後、上福田農地水保全会の皆様から、冷たい飲み物もいただきました。皆様、本当にありがとうございました。



水泳の授業



スマイルデー
滑川総合高校との交流



読書ボランティアさん

7月・8月の主な行事予定 ※変更が生じる場合があります

7月 4日(火) 5年生社会科見学
7日(金) こころの劇場(6年生)
10日(月) 着衣泳「ういてまて」教室
12日(水) 5時間授業
13日(木) 6年生 国会見学 5時間授業
14日(金) 5時間授業
17日(祝) 海の日
18日(火) 給食最終日 4時間授業
19日(水) 3時間授業
20日(木) 終業式

8月11日(金) 山の日 閉庁日(16日まで)
26日(土) PTA奉仕作業

